

先進医療Bの新規届出技術に対する事前評価結果等について

整理番号	技術名	適応症等	医薬品・医療機器等情報	申請医療機関 ※1	保険給付されない費用 ※1※2 （「先進医療に係る費用」）	保険給付される費用 ※2 （「保険外併用療養費に係る保険者負担」）	保険外併用療養費分に 係る一部負担金※2	先進医療技術審査部会				先進医療会議		その他 （事務的 対応等）	
								審査担当構成員（敬称略）				総評	事前 評価 担当 構成員 （敬称略）		総評
								主担当	副担当	副担当	技術 委員				
183	初発・再発転移性脳腫瘍に対する光線力学的療法	開頭腫瘍摘出術を要する初発および放射線治療後の再発転移性脳腫瘍	・PD レーザ BT(Meiji Seika ファルマ株式会社) ・注射用レザフィリン100mg	国立がん研究センター中央病院	51万8千円 （全額研究費負担のため患者負担は0円）	215万9千円	93万1千円	坂井	掛江	上村	適	近藤	適	別紙1	
184	レゴラフェニブ併用多剤化学療法及びビニレルピン・シクロホスファミド維持療法	初発のユーング肉腫またはユーング肉腫類様の円形細胞肉腫	・スチバーガ錠40mg ・ロゼウス静注液10mg/ロゼウス静注液40mg ・エンドキサン錠50mg ・注射用エンドキサン100mg 注射用エンドキサン500mg ・オンコピン注射用1mg ・アドリアシン注射10 アドリアシン注射50 ・注射用イホマイド1g	国立がん研究センター中央病院	377万5千円 （全額研究費、企業による負担のため患者負担は0円）	988万円	420万円	岡田	後藤	山本	野津	適	松山	適	別紙2

※1 医療機関は患者に自己負担を求めることができる。

※2 典型的な1症例に要する費用として申請医療機関が記載した額(四捨五入したもの。)

【備考】

- 先進医療A
 - 1 未承認等の医薬品、医療機器若しくは再生医療等製品の使用又は医薬品、医療機器若しくは再生医療等製品の適応外使用を伴わない医療技術(4に掲げるものを除く。)
 - 2 以下のような医療技術であって、その実施による人体への影響が極めて小さいもの(4に掲げるものを除く。)
 - (1)未承認等の体外診断薬の使用又は体外診断薬の適応外使用を伴う医療技術
 - (2)未承認等の検査薬の使用又は検査薬の適応外使用を伴う医療技術
 - (3)未承認等の医療機器の使用又は医療機器の適応外使用を伴う医療技術であって、検査を目的とするもの
- 先進医療B
 - 3 未承認等の医薬品、医療機器若しくは再生医療等製品の使用又は医薬品、医療機器若しくは再生医療等製品の適応外使用を伴う医療技術(2に掲げるものを除く。)
 - 4 医療技術の安全性、有効性等に鑑み、その実施に係り、実施環境、技術の効果等について特に重点的な観察・評価を要するものと判断されるもの